

ニューズレター 2020 年度第3号

日本音楽表現学会 2021年3月31日発行

【巻頭言】音楽とモンタージュ	山名 敏之	p.2
日本音楽表現学会第19回（天翔るペガサス）大会のご案内		p.3
ご案内、実行委員会組織、プログラム概要と発表者氏名		
参加費、参加申込、総会委任状、等		
【随想】音楽を用いた生活習慣の形成	渡会 純一	p.7
新入会員紹介		p.8
日本音楽表現学会後援コンサート等情報		p.9
会員による新刊紹介・CD/DVD等リリース		p.11
教員公募のお知らせ		p.11
日本学術振興会 育志賞 推薦候補について		p.11
『音楽表現学』Vol.19 原稿募集		p.12
事務局からの重要なお知らせとお願い		p.13
年会費の納入について		
住所等会員情報の変更		
学会員のサポート制度		
会員への情報公開		
学会発刊の書籍の販売について		
入会手続きについて		
退会手続きについて		
2020年度役員・委員等一覧		p.16
編集後記		p.16

日本音楽表現学会



所在地：〒616-8025 京都市右京区花園土堂町1-6

事務局：同上

Tel. 075-462-1388

E-mail: music-expression@music-expression.sakura.ne.jp

URL: <http://www.music-expression.sakura.ne.jp/>

年会費：5,000円

振込先：郵便振込口座 01370=6=78225 日本音楽表現学会

音楽とモンタージュ

山名 敏之（歴史的鍵盤楽器演奏法研究／副会長）

映画「お熱いのがお好き」が好き！という方は多いだろう。私が特に気に入っているシーンに、トニー・カーチスとジャック・レモンの女装の場面がある。コートを買草に出し、それを元手に賭けたドッグレースが見事に外れ二人は文無し、真冬にコート無し。さあ大変、でも募集があるのはフロリダでの女性バンドのみ、この間偶然マフィアの鳥争いの惨殺現場を見てしまった彼らは高飛びを決意、受話器をとりトニー・カーチスは「***」と甲高い女性の声色で交渉し始める。この後カットはいきなり駅のホームになり、ローポジションのカメラがハイヒール・スカート姿の4本の足を捉える。このカットで観客はすべての状況を把握し、これから起こるドタバタに胸が高鳴るのである。

長々と引用したのには訳がある。私はレッスンの際、女装の経過等を大胆に省略した効果的なカット割を引用し、「あっ！」という間にアフェクトを変化させるコツとしてよく話すからだ。たとえばモーツァルトの《ソナタ KV 309 in C》第1楽章提示部第2主題の入りである。第33-34小節の予備楽節はトニー・カーチスが電話をかけているカット、第34小節には *cresc.* が書かれ *p* から *f* まで短時間で音量を上げていく。やきもきする緊張感だ。すると第35小節は急に *p*。スタッカート記号が施された第2主題、第37、38小節のわざわざ16分休符まで付加されたロンバルディック奏法は、まさに慣れないハイヒールとスカートを履いてガニ股で歩く2人の足の運びである。これに対し16分休符が削除されスラーのみの第41、42小節のロンバルディック奏法はモンローウォーク。第35小節からのスタッカートは、第1主題における活発なスタッカートと同じではアフェクトは変わらない。場面が唐突に女装した男の足を捉えることを示唆すれば、スタッカートの弾き方は自ずと変化する。

さて音楽と映画を結びつけているキーポイントは何か。それは組み合わせられた各カット（映像の切れ目）あるいは動機・楽節の組み合わせ間に飛躍があること、つまりモンタージュである。各カットあるいはシーンをどう組み合わせるのかということの意味するこの言葉は映画の専門用語だが、私はとりわけ器楽曲にもあてはめることができると考えている。たとえばモーツァルトの

【譜例】 Mozart Piano Sonata KV 309 in C bar 35-44



【注】 梨形亜樹子 (2017) 「フローベルガーの鍵盤楽曲の演奏解釈」『日本チェンバロ協会年報』pp.29-30, 東京: 日本チェンバロ協会.

ソナタの提示部は、モンタージュされる楽節の組み合わせ、そして順番が巧みだ。でなければあれだけ共通点のない動機や楽節を組み合わせるバランスのとれた提示部を作れるわけがない。

ところでこういった映像のカット割と音楽の動機あるいは短い楽節の繋がりとの類似性について、私が独自に見出したわけではない。発想の源はフローベルガー(1616-1667)の《ラインの渡し舟において大変危険な状況を目の当たりにし作曲したアルマンド》にある。この作品をフローベルガーは不均一な26ものシーンに分割し、箇条書きにしている。曲はミッテルナハト氏が舟から河に落ちてしまったところから始まる。その第3カットから第9カットまでを引用してみたい。③船中は大混乱し。さらに上へ下へと行ったり来たりする人で大騒ぎ。まずアールフェルト氏(父)が駆け上がり、④ボーデック氏が続き、⑤アールフェルト氏(子)も、ためらうことなく続いた。⑥トゥルン伯は遅れをとるまいと、大いに奮発し船に駆け上がった後、助けようと小舟へ飛び降りた。⑦船員達が小舟でやって来て彼を助けようとしたが、うまくいかなかった。⑧ミッテルナハト氏はため息をつき始めた。⑨ようやく目を覚ましたフローベルガーは、隣に誰もいなかったので、皆がわめき叫ぶのを聞き、船が壊れてしまう、これは助かるすべはない、そのうち溺れてしまうだろうと考え、神に委ね、加護を祈り始めた^{註)}。

文章だと断片的で省略が多いと感じられるが、映像として捉えれば先の「お熱いのがお好き」と一緒に文章間の跳躍は解消される。そして③から④⑤⑥とかなり早いテンポとリズムでカットが繋がられていること、そして⑨のフローベルガーの間の抜けた目覚めと勘違いの祈りは、緊迫したシーンにおいてよく挿入される「笑い」に相当すると気づかれるであろう。特にこの「笑い」は受け取る側の理解にスピード感が伴わないと成り立たない映画的な表現といえる。映画と音楽の共通性についてフローベルガーは17世紀にすでに気がついていたと言ったらおかしな話になる。つまりところ映画も音楽も似たレトリックを持っており、それは言語のレトリックとは異なっているということだ。「言葉で表現できなくなった時音楽が始まる」というドビュッシーの名言が想起されるところである。

日本音楽表現学会 第19回(天翔るペガサス)大会のご案内

音楽表現の魂をペガサスに託して

日本音楽表現学会会長 小西 潤子

仲春のみぎり、新しい生活スタイルも2年目に入りました。この間、新型コロナウイルス感染防止が講じられワクチン接種も始まり、新しいライフスタイルの未来にも明るい兆しが見えてきました。第19回日本音楽表現学会大会は、この1年間蓄積されたノウハウを最大限活かして、ビデオ・オン・デマンド型の動画配信によってオープニング演奏を含む開会式、基調講演、レクチャー・コンサートをお届けするとともに、Web会議サービスを使つての「サロン」、誌上による研究発表という、これまでにないハイブリッドな方式で実施されます。音楽表現の魂を乗せたペガサスが、時空を超えて飛び走るイメージが浮かんでくるような大会です。

私たちはコロナ禍によって大きな痛手を負いましたが、先人たちもその魂を音楽として表現することで、さまざまな試練を乗り越えてこられました。音楽による表現は、未来永劫、人が生きる原動力となり続けることでしょう。その力を確信するための特別な時間をどうぞ、一緒に楽しみましょう。

第19回「天翔るペガサス」大会への誘い

大会実行委員長 吉田 秀文

昨年6月に高崎市の新島学園短期大学にて開催予定でした第18回「ペガサス大会」は、Covid-19の蔓延を懸念して大幅な実施変更を余儀なくされました。群馬で皆様と交流できることを望んでおりましたが、残念ながら叶いませんでした。その後、本部より再チャレンジする機会を頂戴いたしました。大変有り難いお話しで期待に胸を膨らませていましたが、社会情勢の改善が見込まれず、ご参加くださる皆様の安全安心を鑑みて今回も現地開催は厳しいと判断しました。

そこで、最近すっかり定着したオンライン技術の恩恵に与り、第19回「天翔るペガサス」大会は、オンラインと紙面発表のハイブリッドで開催することに致しました。ご都合等で参加を見送らなければならぬ方も、折を見てご参加いただけると幸いです。インターネットテクノロジーに感謝すると同時に、これまで人類が編み出してきた“生演奏”のよさも、引き続き真価を見だし、ともに邁進できればと考えております。新たな形式での学会となりますが、本大会を通して各位の研究成果が広く共有されることを切に願っています。どうぞ、よろしく申し上げます。

1) 大会実行委員会組織(敬称略):

実行委員長: 吉田 秀文(群馬大学)

事務局長: 澤田まゆみ(新島学園短期大学)

実行委員: 瓜生 郷子(新島学園短期大学) 金山茉莉花(奈良保育学院)

久保田和子(新島学園短期大学) 渋川ナタリ(東京藝術大学)

高木麻衣子(東京福祉大学) 林 智草(育英短期大学)

原 久美子(東京福祉大学)

2) 大会日程: 2021年6月19日(土)-20日(日)

3) 開催方法:

共 催: 新島学園短期大学

後 援: 群馬大学、群馬県教育委員会、高崎市教育委員会

開催方法: オンラインと誌上発表

オープニング→ご挨拶→基調講演→レクチャーコンサート参加者限定 YouTube

総 会: 会員限定 zoom

サ ロ ン: 参加者限定 zoom

4) プログラム概要と出演者・発表者等氏名（敬称略）：

オープニング：ジョン・ラター作曲《詩篇 150》

演奏：群馬大学・新島学園短期大学学生有志他、吉田 秀文（指揮）、小川 有紀（Org.）

基調講演：「神話と音楽」

講師：神部 智

レクチャーコンサート：「神話に基づく音楽」

- I ギリシャ神話に基づく音楽 企画：安田 香
 Debussy <シランクス> (朗読) 柚木たまみ・(Fl.) 新保 江美
 <ビリチスの3つの歌> (Sop.) 柚木たまみ・(Pf.) 前田 則子
- II 北欧神話に基づく音楽 企画：神部 智
 Sibelius <キュッリッキ> (Pf.) 大場 俊一
 Loewe <海を渡るオーディン> (Bar.) 成瀬 当正・(Pf.) 大場 俊一
- III 日本神話に基づく音楽 企画：齊藤 武
 齊藤武 ミュージカル『東への風』（神武東征外伝）より「ヒムカの海辺で」
 (Sop.) 宮田 知絵・(Ten.) 水野 重歴・(Pf.) 山田 真子

サロン：サロンでは専門や関心を同じくする会員が集まり、共通の話題・テーマについて話し合います。オンライン大会の今回は連絡担当者をホストとして、参加者の希望を基に時間になりましたら招待メールを送ります。開設サロンは以下の通りです。

- ・作曲のサロン
- ・ピアノのサロン
- ・管弦打楽器のサロン
- ・指揮のサロン
- ・ソルフェージュのサロン
- ・日本音楽のサロン
- ・音楽表現と社会のサロン

研究発表等：『大会要項』に要旨を掲載します。発表原稿は11月30日発行予定の『音楽表現学』Vol.19に掲載します。

発表者名	発表題目
三島 郁	18世紀のレチタティーヴォ音型—考察—声楽とバス相互の関係に焦点をあてて—
高橋 舞	継承された「ピアノによるバッハ像」の追跡
田中 宏明	バルトーク校訂版バッハ《平均律クラヴィーア曲集》から読み取れるピアノリズム
後藤 丹	モーツァルト・ピアノソナタ K.545 に見る極限の作曲技法
上敷領 美絵	ドビュッシーの歌曲における詩の韻律と音楽の関係—12音節詩句の3分節詩句を通じて—
佐藤 和貴	バルトーク作曲『ピアノ協奏曲第3番』の分析研究
山本 奈央	スクリャーピンの単一楽章形式のピアノ・ソナター—その起源と様式の変遷—
[大西 亜希子 田中 昌司]	クラリネット演奏に関する脳波の特徴 —感情表現有/無、楽譜有/無、イメージ演奏など—
高橋 裕之	ベートーヴェン交響曲第7番の演奏実践から得た所見 —ティンパニにおける楽器法の革新的用法に着目して—
奥村 治	アルペジョーネの登場時期に疑問が
小野 亮祐	19世紀初めのダルムシュタット宮廷楽団における音楽教授活動
後藤 友香理	2種の音律に関する検証—演奏音源を用いた聴取実験に基づいて—
中村 隆夫	「導音は高くとるべし」という神話を打ちこわす
田中 昌司	オペラ鑑賞時のミラーニューロン活動—器楽演奏と何が違うのか—

- 瀧戸 彩花 AI やIoTを活用した音楽・楽器が人々に与える影響に関する一考察 (仮)
- 宮田 知絵 同じ詩に付曲された三つの童謡〈お山の大将〉を考える—より良い演奏を目指して—
- 近藤 晶子 一般大学生のメディアとの付き合い方の変化—コンピュータ音楽作成講座を通して—
- 中畑 淳 新型コロナ拡大と実技指導の工夫
- 近藤 茂之 動画投稿によるピアノ実技指導について—自学自習を深めさせるための工夫と課題—
- 福富 彩子 ピアノ演奏における手指の巧緻性に関する研究—練習を助ける動きの実践と検討—
- 千葉 昌哉 保育者養成課程における歌唱とファルセットの可能性についての一考察
- 内山 尚美 保育者養成課程における表現に関わる演習科目の取り組み
- 〔尾見 敦子〕 現職保育者のためのわらべうたオンライン研修 (1)
- 〔枝村 美夏〕 —保育士のミュージシャンシップの育成の視点から—
- 〔枝村 美夏〕 現職保育者のためのわらべうたオンライン研修 (2)
- 〔尾見 敦子〕 —保育内容としてのわらべうたの視点から—
- 小島 エマ エドウィン・E・ゴードンのミュージック・ラーニング・セオリーの“今”
- 各国の研究者による研究から—
- 原田 博之 教員養成大学における遠隔と対面による合唱の授業
- 藤田 光子 小学校教員養成校における音楽科指導法の学びを考える—遠隔授業の実践より—
- 〔田中 幹子〕 保育者の音楽表現に関わる一考察—総合的な表現へ—
- 〔佐野 仁美〕
- 渡会 純一 「オノマトペ」を用いた活動の試み
- 萬年 祐子 生活と音楽のかかわりを考える授業実践
- 仕事歌のコールアンドレスポンスに焦点を当てて—
- 河本 洋一 学校教育におけるヒューマンビートボックスやヴォイバ導入の意義と効果
- 〔加藤内蔵進〕 音楽と気候との学際的往還による異文化理解とESD教育
- 〔加藤 晴子〕 —北欧・ドイツと日本の夏の季節進行と季節感を接点に—
- 〔杉江 淑子〕 文化的多様性を前提とし活かした音楽科指導プランの開発に向けて
- 〔宮本賢二朗〕
- 新山王 政和 思考を伴った試行錯誤に基づく小学校音楽科「音楽づくり」の課題
- 中学校音楽科「創作」と継続性をもたせるために—
- 加藤 博行 コロナ禍における小学校スクールバンドの交流活動
- 櫻井 知子 コロナ禍の放課後児童クラブにおける表現活動の試み
- 〔佐野 仁美〕 小学校中学年の旋律づくりの試み—替え歌を用いて (II) —
- 〔岡林 典子〕
- 〔坪井眞里子〕 幼児の音楽感受と身体表現
- 〔眞崎 雅子〕
- 〔伊藤 充子〕
- 上山 典子 ヨーゼフ・ヨアヒム国際ヴァイオリンコンクールの運営体制の変化と今後の展望
- 阿部 亮太郎 地域の市民創作音楽劇制作における創意と時代の要請について
- 榊原 明子 コロナ禍でのコンサート開催における一考察
- 中 磯子 高齢者における歌唱二重課題と計算二重課題の心理的影響の比較
- 木村 貴紀 転換期に見られる音楽批評の諸相
- 小川 有紀 西洋音楽教育の来歴 II—市井の人々の西洋音楽の受容と表現—
- 宮川 渉 細川俊夫と雅楽
- 小西 潤子 琉球舞踊古典女踊り「柳」の解釈と《柳節》本歌の音楽表現
- 奥 忍 「彦根屏風」を聴く

5) 日本音楽表現学会第19回(天翔るペガサス)大会の参加申込について

大会はオンラインと誌上発表の2本立てで開催されます。オンラインは限定公開です。

参加希望者は、学会員、非学会員を問わず、必ず「参加申込書」でメールアドレスをお知らせください。

申込書が届いたら、参加費の納入を確認した上で「参加受付証」を事務局から送ります。

- ① 参加申込方法：右の参加申込書書式に必要事項をご記入の上メールでお申し込みください。
- ② 参加費払込：A) 郵便局からの振込 00210=5=142606 加入者名 日本音楽表現学会大会
B) 店名〇二九(029) 当座口座 142606 加入者名 日本音楽表現学会大会
- ③ 申込書送付先：**music-expression@music-expression.sakura.ne.jp** (日本音楽表現学会事務局)
- ④ 参加申込〆切：2021年6月10日(木)

・参加申込書式：以下の書式の該当項目に(✓)をご記入ください。

学会員以外の方は、一般(大学院生を含む)か学部学生の別を該当項目に✓してお示しください。

(参加費を「大会参加用郵便払込取扱票」で払い込みを済ませた後に該当欄に✓してください。)

<p>【学会員用参加申込書書式】</p> <p style="text-align: center;">第19回(天翔るペガサス)大会参加申込書</p> <p style="text-align: center;">必要事項をご記入ください。 該当する□に✓をつけてください。</p> <p>ご氏名： _____</p> <p>連絡先：〒 _____</p> <p>e-mail： _____</p> <p>(オンライン大会のためアドレスを必ずご記入下さい)</p> <p>緊急連絡：(携帯電話等) _____</p> <p>大会参加費：<input type="checkbox"/> 5,500円</p> <p style="padding-left: 20px;"><input type="checkbox"/> 以上の金額を(2021年__月__日)に振り込みました。</p> <p style="padding-left: 20px;"><input type="checkbox"/> 2021年度までの学会費(5,000円/年)は納入済です。</p> <p>参加希望のサロン(一つ) <input type="checkbox"/> 作曲 <input type="checkbox"/> ソルフェージュ</p> <p style="padding-left: 40px;"><input type="checkbox"/> ピアノ <input type="checkbox"/> 日本音楽</p> <p style="padding-left: 40px;"><input type="checkbox"/> 管弦打楽器 <input type="checkbox"/> 音楽表現と社会</p> <p style="padding-left: 40px;"><input type="checkbox"/> 指揮 <input type="checkbox"/> 不参加</p> <p>総会 <input type="checkbox"/> 出席します。</p> <p style="padding-left: 20px;"><input type="checkbox"/> 委任状を提出します。(上記のメルアドを持って署名に代えます)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">2021年度総会委任状</p> <p>総会の議事・議案に関する一切の権限を議長に委任します。</p> <p>ご氏名： _____</p> <p>年月日： _____</p> </div>	<p>【学会員以外の参加申込書書式】</p> <p style="text-align: center;">第19回(天翔るペガサス)大会参加申込書</p> <p style="text-align: center;">必要事項をご記入ください。 該当する□に✓をつけてください。</p> <p>ご氏名： _____</p> <p><input type="checkbox"/> 学部学生(所属大学等 _____ 学年)</p> <p><input type="checkbox"/> 一般参加(あれば所属機関 _____)</p> <p>連絡先：〒 _____</p> <p>e-mail： _____</p> <p style="text-align: center;">(オンライン大会のためアドレスは必須事項です。)</p> <p>緊急連絡：(携帯電話等) _____</p> <p>大会参加費：<input type="checkbox"/> 学部学生 2,500円</p> <p style="padding-left: 20px;"><input type="checkbox"/> 一般参加 6,500円</p> <p style="padding-left: 20px;"><input type="checkbox"/> 以上の金額を(2021年 月 日)に振り込みました。</p> <p>参加希望のサロン(一つ) <input type="checkbox"/> 作曲 <input type="checkbox"/> ソルフェージュ</p> <p style="padding-left: 40px;"><input type="checkbox"/> ピアノ <input type="checkbox"/> 日本音楽</p> <p style="padding-left: 40px;"><input type="checkbox"/> 管弦打楽器 <input type="checkbox"/> 音楽表現と社会</p> <p style="padding-left: 40px;"><input type="checkbox"/> 指揮 <input type="checkbox"/> 不参加</p>
---	--

音楽を用いた生活習慣の形成

渡会 純一（音楽教育／財務担当理事）

筆者は少し前まで子育て奮闘中であった。そこで、本稿ではまだ我が子が小さかった頃の音楽による生活習慣の形成の状況を紹介します、その考え方の学校教育への活用について考えてみたい。

まずは、「お返事ソング」を創作した。それを用いると、子どもたちは無条件で「はーい！」と返事ができるようになった。息子はC⁴-A⁴までの音階を順次進行で組み合わせたもの（4分の4拍子、4小節）、娘はそれに対してG⁴とA⁴の2音のみ（8分の6拍子、2小節）とした。その結果、音感の習得に差異が生じた。娘の曲は2音のみの歌であったためか、当時いまひとつ音感がつかめないうつ状態となった。そこで、ディズニー映画「魔法にかけられて」の「ナリッサのテーマ」（メンケン作曲）に出てくる音階を用いて、替え歌（A³-F⁴）を作成。娘を抱っこし、音に合わせて目の前にあるものをタッチする遊びを行ったところ、次第に音階に慣れていった。

また、生活行動で渋りがちな「歯磨き」にも着目。まず、歯を磨く動機づけに「はをみがきましよう」（則武昭彦作詞作曲）を歌う。これを歌うと歯ブラシを持つようになった。そして、磨き始めたときには「はみがきじょうずかな」（榎木富士夫作詞、福田和禾子作曲）を使用。歌詞に合わせて具体的に磨くところを示し、頑張らせた。その後、「仕上げは「お父さ〜ん」（原曲は「お母さん」と歌うことで、筆者の膝の上に寝転がらせ、口腔内のチェックを行った。最後に口をすすぐときには、「クシコス・ポスト」（ネッケ作曲）の前奏部分を「チュッチュッペー」という歌詞に変え、これが流れたら大急ぎで洗面台に行くように習慣づけた。一つの歯磨きという行為だけで、3つの曲を使用していた。このことから、当時いかに子どもたちが歯磨き嫌いだったか、と今振り返っても分かる。

今でこそこれらの歌からは「卒業」したが、他にもあらゆる場面で歌を中心に子育てを行ってきた。結果、子どもたちはある程度音程感覚が身につくと同時に、音楽によって生活習慣が形成されていったと思われる。また、言葉で指示するよりも、歌で示したほうが内容が伝わるようであった。面白いと思う。

さて、話は変わり、学校の音楽集会で、上記のような啓蒙をする楽曲を選んで歌おう、ということ所属校の授業で実施したことがある。その「授業」は、今年度のコロナ禍を受けて実習期間が短縮された学生に対して実施される

「教育実習代替実習」で行った。今回はこの中で、養護教諭実習のグループが考えた楽曲を紹介する。

今回は小学校での実践という設定で、4月から3月までの12ヶ月分、月に1曲選曲する。なお、8月と9月は同一曲で構わないこととし、11曲を選ぶ。様々な校種の学生がいたが、養護教諭実習の学生に対して、「保健室で活用したい歌を集める」ように伝えた。調べる際にはPCやスマホを使用し、20分の制限時間で探すこととした。そして、選曲に関し、以下の3つの条件を設定した。①恋の歌は不可。②音域はA³～F⁵とするが、男声ヴォーカルの曲などで移調すれば音域の範囲に収まるものは入れて良い。③同じ音程を繰り返すものや無音程でリズムに乗ってしゃべる部分がある曲（ヒップホップなど）は不可。

結果として、養護教諭実習のグループの選曲を部分的に抽出すると、次のようになった。5月「早寝早起き朝ごはんのうた」（陰山英男作詞作曲）、6月「はみがき ha ha ha」、7月「ラジオ体操の歌」、8・9月「えいようのうた」（「リパブリック讃歌」の旋律を使用）、10月「コッコマーチ」、12月「wash your hands」（嵐）、1月「コンコンクシャンの歌」。実際にYouTubeも見て確認をしたが、養護教諭ならではの発想に感心した。

時同じくして、コロナ禍において特別支援学校の教員から「マスクをなかなか着用しようしない児童がいたので、「コンコンクシャン」を校内で流すようにしたら、少しずつマスクに対する抵抗が減ってきている」という報告を受けた。この教員は、普段から学習活動を始める際もその場面にあった楽曲を作曲し、それをギターで弾き歌いすることで学習習慣の定着を図っているとのことだった。この例のように、栄養や清潔面を啓蒙や、学習活動促進の歌を、小学校はもちろん特別支援学校や幼稚園・保育所などでも活用できるだろうと考える。また、「ほけんだより」や、幼稚園だより等にもこれらの楽曲を提示し、YouTubeへのリンクを示すQRコードをつける試みがあっても面白いだろう。楽譜出版がない場合は、旋律の耳コピーなどをして伴奏を自由に付けてみてもよい。

今回は、生活習慣の定着のために、様々な音楽を用いたり、自ら曲を創作してみたりすることを提案した。会員の皆様、自らの健康維持や生活習慣改善のために、身近な楽曲（創作含む）を活用して歯磨き、手洗い、運動などをしてみるのはいかがでしょうか？

新入会員紹介

」

プライバシー保護の観点からこの部分は削除しています。

日本音楽表現学会後援コンサート等情報

鶴澤 友球さん 石絵と浄瑠璃が織りなす忠臣蔵の世界

日 時 2020年12月10日(木)13時30分開演

会 場：なごみの里 山都 (多可町八千代区大和)

料 金：一般前売 2,000円 (当日 2,500円)

演 奏 者：鶴澤友球

演 目：(1)『伊達娘恋緋鹿子』〈八百屋お七火の見櫓の段〉

(2) 安倍加織「多可町・杉原紙と忠臣蔵」スライドショー

(3)『仮名手本忠臣蔵』三段目〈殿中刃傷の段〉

※多可町八千代区在住のイラストレーター安倍加織の作品展「杉原紙と忠臣蔵」の特別企画。

主 催：安倍加織・鶴澤友球

後 援：鶴澤友球会

問 合 せ：鶴澤友球会事務局 Tel & Fax 0799-62-5805

鶴澤 友球さん 第2回 浄瑠璃研鑽会 (鶴澤友吉会 × 鶴澤友球会)

日 時：2020年12月12日(土)15時開演

会 場：松葉寿司 (南あわじ市広田 528-1)

料 金：観覧無料 (予約優先・先着順)

演 奏 者：鶴澤友吉会ならびに鶴澤友球会会員による浄瑠璃の演奏発表

演 目：(1)『絵本太功記』十段目〈尼ヶ崎の段〉

(2)～(5)『仮名手本忠臣蔵』より三段目〈殿中刃傷の段〉、同〈裏門の段〉、
六段目〈身売りの段〉、同〈早野勘平腹切の段〉(6)『玉藻前囃袂』三段目
〈道春館の段〉

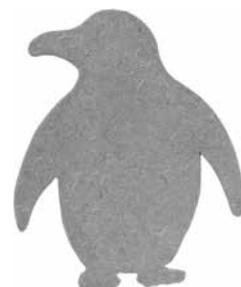
主催後援：鶴澤友球会

榊原 明子さん **奈良の四季を奏でるコンサート**
日 時：2021年2月23日（火・祝） 昼14時/夜19時開演
会 場：奈良市音声館
料 金：2,000円（小人1,000円）
演 奏 者：榊原明子（ピアノ・作曲）、石川利光（尺八）
主な曲目：「春麗」「夏麗」「秋麗」「冬麗」（作曲：榊原明子）
主 催：ピアノで奈良を奏でる会、AMIDA LABEL
後 援：奈良県、奈良市、奈良県教育委員会、奈良市教育委員会ほか

木下 千代さん **木下千代ピアノリサイタル《ベートーベン 不滅の恋人をめぐって》**
日 時：2021年3月24日（水） 19時開演
会 場：兵庫県立文化芸術センター神戸女学院小ホール
料 金：3,000円
後 援：東京芸術大学音楽学部同声会
演 奏 者：木下千代
主な曲目：オールベートーベンプログラム（ピアノソナタ第24番、第31番、幻想曲、
6つのバガテル op.126等）
問 合 せ：大阪アーティスト協会 artists@gol.com

豊田 典子さん **歌の会★青い星が感謝とエールを込めて令和の春に贈る
世界の名歌100曲リクエストコンサート Vol.4**
日 時：2021年4月10日（土） 14時開演
会 場：兵庫県立芸術文化センター神戸女学院小ホール
料 金：3,000円（前売り2,500円）
演 奏 者：豊田典子(Sop) 他
主な曲目：歌劇「トスカ」より《歌に生き、愛に生き》 他99曲の中から当日聴衆の
リクエストに応じて約40曲を演奏
主 催：歌の会★青い星
後 援：神戸波の会 ひょうご日本歌曲の会他
備 考：コロナ感染拡大防止の緊急事態宣言の状況を鑑み、入場者数の制限、
開催の有無を含めて判断します。

山田まゆみさん **春の朗読 & ピアノコンサート～春風にのせてとどけます～**
日 時：2021年4月18日（日） 14時開演（13時30分開場）
会 場：世良美術館
料 金：2,000円
演奏者等：山田まゆみ（ピアノ） 田中睦美（朗読） 高橋弘（朗読）
主な曲目：ピアノ「花の歌」「出会い」「春のロンド」「幻想曲 さくらさくら」など、
朗 読：「羅生門」「そっといちどだけ」「ジャン クリストフ」
主 催：Avec musique、ジョブアプリケーション



会員による新刊紹介・CD/DVD 等リリース

- 舟橋三十子さん フォルマシオン・ミュージカル
『ジュニアのための名曲で学ぶ音楽の基礎(楽典・ソルフェージュから音楽史まで)』
出版社：音楽之友社
判型・頁数：A4判・64頁
発行年月日：2020年12月10日
価格：1,870円(税抜価格1,700円)
ISBN：978-4-276-10056-5
- 笹野恵理子さん 学校音楽の「カリキュラム経験」—潜在的カリキュラムの生成過程—
出版社：多賀出版
判型・頁数：A5判373頁
発行年月日：2021年2月20日
価格：6,600円(税抜価格6,000円)
ISBN：978-4-8115-8021-0
- 小野亮祐さん、他『バイエルの刊行台帳 世界的ベストセラーピアノ教則本が語る音楽史のリアル』
出版社：音楽之友社
判型・頁数：四六判272頁
発行年月日：2021年4月12日(予定)
価格：2,750円(税抜価格2,500円)
ISBN：978-4-2762-1259-6
- 奥 忍さん、他DVD「能」は面白い! 《羽衣》
監修：西野春雄
制作：伝統音楽普及促進事業実行委員会
内容：本体DVD2枚組(Disc1解説・実践編、Disc2鑑賞編)
発行年月日：2020年3月31日
価格：3,000円(税抜価格2,727円)
お問い合わせ：denonfukyu@gmail.com

教員公募のお知らせ

1. 大学・学部・講座名：秋田大学教育文化学部 学校教育課程 教育実践講座
2. 職 名：准教授又は講師 1名
3. 担当分野：声楽・音楽科教育
4. 公募〆切：2021年4月16日(金) 必着
5. 詳細：秋田大学 教育文化学部 HP：教員公募ページ URL
https://www.akita-u.ac.jp/eduhuman/guide/gu_publicappeal.html

第12回日本学術振興会 育志賞 推薦候補について

学会からの推薦を希望される方は本学会の「日本学術振興会賞」および「育志賞」の推薦に関する内規(『音楽表現学』vol.18 p.13)をご覧ください。

日本学術振興会「育志賞」URL <http://www.jsps.go.jp/j-ikushi-prize/index.html>

『音楽表現学』 Vol.19 原稿募集

〆切は 2021 年 5 月 15 日 (土) 24:00 です。

『音楽表現学』編集委員長 水戸 博道

投稿資格：投稿者および共同執筆者は、「その年度までの年会費を納入した会員に限る」（投稿規定3）

執筆要領・投稿方法：『音楽表現学』Vol.18の巻末、または学会HPの「投稿規定」をご覧ください。

投稿書式：投稿時点では2段組でなく、1段組でご応募ください。

引用文献の記載方法：HPに例示しています。

執筆方法：本学会発行『2020年版研究論文執筆のしおり』を参考にされることをお勧めします。

*投稿する前に、ご自身が上記「投稿資格」に該当することをご確認ください。

*本学会発行『2020年版研究論文執筆のしおり』を座右にご執筆ください。執筆者の意図が読み手に伝わるかどうか、投稿前に周りの知人に一度読んでもらうことをお勧めします。

*応募原稿が論文及び学術誌の原著性を損ない、論文の著作権の帰属に関する問題や研究実績の不当な水増しにもつながり得る「研究者倫理に反する行為」にならないよう注意してください(文部科学省ガイドライン)。

*投稿に際しては学会HPに掲載されている「音楽表現学テンプレート」をご使用ください。

*投稿する前に、投稿予定の原稿が学会HPの「投稿チェックリスト」に適合していることをご確認下さい。

*投稿原稿には学会HPに示された書式の「投稿申込書」を同封してください。

*『音楽表現学』には「原著論文」「評論論文」「研究報告」の他に「批評」「書評」「寄書」「展望」「解説」「その他、国際会議参加報告、研究会・研究所紹介等」も掲載できます。執筆に挑戦してみようとお考えの方はどうぞ学会事務局までお問い合わせください。

music-expression@music-expression.sakura.ne.jp

数多くの会員の皆さまが日頃、演奏をはじめとして様々な音楽表現に関する活動をしておられます。またそのために大いに研鑽を積んでおられることでしょう。その研鑽の記録、演奏表現の比較、演奏表現の問題点などを文章にしてみたいかがでしよう。会員の皆さまの活動が論文や記事の形で残されるならば、本学会の存在がますます重みを増すものになると考えます。

「人に読んでもらう、理解してもらう」投稿原稿を作成するために次の諸点に留意されるようお勧めします。

- ① 最初に本学会発行の『2020年度版音楽表現論文執筆のしおり』を一読されることをお勧めします。『しおり』にはこれから書こうとする人のために多くのヒントや練習が記載されています。今年度版では「論文等の評価の視点」などを追加しています。
- ② 原稿完成を締切日の1週間前を目処にして作成されることを強くお勧めします。
- ③ 「完成した」と思ったら一晩寝かせてください。
- ④ 翌日、完成した原稿と「投稿チェックリスト」の項目を照合して、原稿が各項目を充足しているか、確認してください。
- ⑤ 同時に周りのだれかに読んでもらいましょう。他の分野の方でも構いません。読んでもらうことによって、自分の主張・意図を自分が考えているように理解してもらえるかどうか分かります。
- ⑥ 採択される原稿の多くは、以下のような要件を備えているといえます。
 - ・『音楽表現学』の掲載原稿として、内容や主題が適切である。すなわち、問題設定と研究方法・研究対象が、音楽表現研究として妥当であり、説得力がある。
 - ・関連する先行研究を十分にふまえた上で、未発表の原稿としてオリジナリティがある。
 - ・標題が内容を適切・正確に表している。
 - ・論旨の展開に矛盾や飛躍がない。
 - ・章・節の構成や順番が適切である。
 - ・結論は、はじめの問題設定に答えるものとなっている。
 - ・扱われている資料は信頼できるものであり、資料の解釈には妥当性がある。
 - ・『音楽表現学』の読者(音楽家・音楽研究者)が必ずしもその問題や領域の専門家であるとは限らないことを配慮している。
 - ・文章は明晰で、特殊な用語や表現などは正確に説明されている。
 - ・文章の引用方法や注・文献表記、譜例や図表は書式に揃っている。
- ⑦ 演奏する曲を何度も繰り返し練習するように、自分の文章も何度も読み直して推敲しましょう。

皆さまの投稿をお待ちします。

事務局からの重要なお知らせとお願い

1. 年会費の納入について

(1) 納入期限：その年度の4月1日から大会開催1週間前までにお願いします。

学会は皆様方の年会費で運営されています。滞納されますと、機関誌の発行、大会の開催など、さまざまな活動に支障をきたします。例年年度当初(4月)に速やかな納入をお願いしています。今年度の会費をまだお振り込みでない方はお急ぎください。なお、3年滞納された方は、総会での審議事項、年会費滞納による除籍対象者になります。無意識滞納にご注意いただきますと同時に、対策の一助として、納入後はただちに、「振替払込請求書兼受領証」(ATM ご利用の場合は「ご利用明細票」)に、納入年度をメモの上、保存されることをお勧めいたします。

(2) 振込方法：同封のゆうちょ銀行青色の「払込取扱票」をご利用ください。

電信での送金は、内容確認が困難であり混乱の原因となります。学会では、財務局での入金確認作業を確実にするため、学会で印字した「払込取扱票」の利用をお願いしております。何卒ご協力ください。

振込先：郵便局の振込み口座 01370-6-78225 名 義：日本音楽表現学会

* 海外在住等、国内でのお振込みが難しい方は、事務局へご相談ください。

(3) 領収書・請求書の発行：必要な方は事務局へお問い合わせ下さい。

領収書は原則として発行いたしません。「振替払込請求書兼受領証」(ATM ご利用の場合は「ご利用明細票」)を領収書として保管ください。

大学研究費での引き落とし等、請求書・領収書の必要な方は事務局へお問い合わせください。財務局へ取次ぎ、発行手続きをいたします。

(4) 年会費減免措置について：自然災害等の被災による減免措置の制度 学会では、地震や洪水等、自然災害の被災によって年会費納入が困難な会員の年会費を減免する制度があります。必要な方は、HPから以下の書式をダウンロードし、申請ください。理事会に諮り、減免手続きをいたします。

「年会費減免願」書式 (20170321 版)：

被災による年会費減免願	
年 月 日	
日本音楽表現学会	
会長 小西 潤子 様	
このたび、(〇〇地震)被災により、(〇〇〇〇年度)年会費の納入免除をお願いいたしたく、減免願を提出いたします。	
なお、(□□□□)年度分までの会費は納入済みですのでご確認をお願いいたします。	
氏 名：	_____
現在の連絡先：	_____
連絡先電話番号：	_____
e-mailアドレス：	_____
減免申請の理由 (具体的に納付困難の理由をお記してください。)	

2. 住所等、会員情報の変更：HPフォームにて速やかにお知らせをお願いします。

<http://www.music-expression.sakura.ne.jp/form/postmail2.html>

学会からの送付物は事務局本部で理事とスタッフが手作業で、お届けいただいた連絡先にお送りしています。しかしながら、転居先不明等で返却される封筒が少なからず存在します。そのたびに所属先や、時には入会時の「推薦者」に問い合わせさせて再送しています。また、経費節減のために学会からの郵送物は郵送ではなく、「デリバリーサービス」を使っています。郵便局宛の住所変更届は民間配送業者には届きません。学会からの送付物が必ずお手元に届くように、また返送による送付作業の手間と経費を削減するために、みなさまのご協力を切にお願い申し上げます。

郵送物の住所変更届を郵便局に提出されても民間配送業者には届きません。

3. 学会員のサポート制度

(1) 機関誌『音楽表現学』への投稿

原稿の投稿には、会員資格と当該年度までの会費を完納していることが必要条件です。手続きには2～3週間かかります。その点ご確認ください。

『音楽表現学』に論文が掲載されると、大学などでは「査読付学术论文」としての評価を受けます。年度末などに業績の報告をされる際には、その旨をお記し下さい。

投稿〆切は5月15日24:00です。

(2) 大会での発表

本学会ならではの生の音楽表現を含めた研究発表の機会をご利用ください。〆切期日は厳守ですので各自で明記してください。

大会発表応募〆切は、2月15日24:00です。

4. 会員への情報公開

(1) ニュースレターへの投稿

ニュースレターは会員の交流の場です。音楽表現に関するご意見など、ご寄稿ください。研究ノート、随想などを図表等を含めて刷り上がり1頁以内でお送りください。

(2) コンサート等の後援・協賛

本学会ホームページのリンクから〔コンサート等後援／協賛申請フォーム〕にて事務局へ申請してください。確認後、事務局より「後援受理書」をお送りしますので、チラシやプログラムに学会名を掲載ください。また、HP及びニュースレターにも案内を掲載させていただきます。なお出演者氏名の掲載は会員のみとなります。各項目それぞれ1行で39字以内を原則とします。

[コンサート等後援／協賛申請フォーム]

(文例) 以下のコンサートの後援をお願いします。

会員氏名： _____

演奏会タイトル： _____

日 時： _____

会 場： _____

料 金： _____

出 演 者： (NLには会員名のみ掲載) _____

主な曲目： (原則として1行で39字以内) _____

問い合わせ先： ホール電話番号 _____

*個人の携帯番号・メールアドレスはセキュリティ上、本会としては記載不可といたします

(3) 新刊案内・CD/DVD リリース

ニューズレターとHPに掲載します。

- ・新刊案内の項目は著者名（会員）、書名、ISBN、出版社、発行年月日、判型と頁数、税込価格（税抜価格）、購入方法など
- ・CD、DVDの項目は制作・編集者名（会員）、タイトル、DVD-No.、所要時間、発売・販売、発行年月日、税込価格（本体価格）、購入方法など

(4) その他：隣接領域の研究会等情報などもお寄せください。

投稿受付は随時、ワードの添付書類で学会事務局宛にお願いします。

music-expression@music-expression.sakura.ne.jp

5. 学会発刊の書籍の販売について

(1) 『音楽表現学』バックナンバー購入方法と価格

メール等で事務局までお申し込みください。
代金は、到着後郵便振替でお願いします。大学図書館などへの納入については事務局にお問い合わせください。

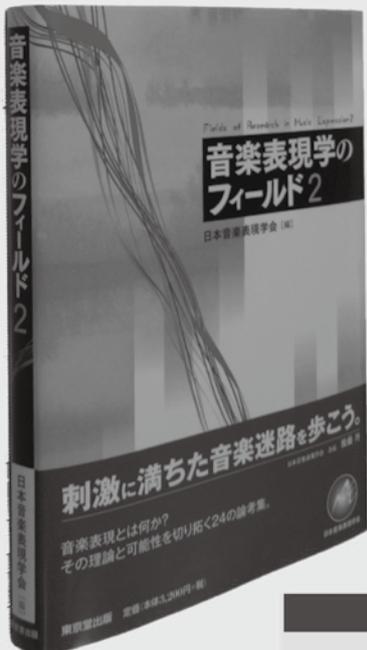
Vol.	会員価格（1部）	一般価格（1部）
1～3	2,500円+送料	3,000円+送料
4～14	3,000円+送料	3,500円+送料
15以降	2,500円+送料	3,000円+送料

(2) 『音楽表現学のフィールド2』好評発売中。

メール等で事務局までお申し込みください。
会員価格にて購入いただけます。代金は、到着後書籍に同封の郵便振替でお願いします。
会員価格：3,000円（正価×0.9-α、税込・送料込み）
一般価格：3,456円（税抜3,200円）

〔購入申込書〕

『音楽表現学のフィールド2』の購入を申し込みます。
氏名： _____
部数： _____
送付先： _____
連絡用E-mail： _____



『音楽表現学のフィールド2』

主要部分のタイトルと執筆者

作曲、指揮、声楽、ピアノ、木管楽器、古楽器製作、電子楽器、ダンス、音楽学、メディア、邦楽、伝統音楽（能）音楽教育、幼児教育、など幅広いジャンルにわたって音楽表現学の理論と可能性を切り拓く24の論考集。

初版発行 2016年9月15日
編者 日本音楽表現学会
発行所 株式会社 東京堂出版
A5版 285頁
ISBN 978-4-490-20945-7
定価 3,456円（本体3,200円+税）

どうぞお買い求め下さい。

学会員価格 3,000円
一般価格 3,456円

購入申込先
問い合わせ先 日本音楽表現学会
music-expression@music-expression.sakura.ne.jp

第1部 音楽表現の理念と技法

第1章 日本の伝統芸能における音楽表現の理念と技法 河村晴久

第1節 「能」における音楽表現の理念と技法

第2章 楽器と演奏表現の歴史 奥村 治

第1節 アルペジオーネ再発見

第2節 モーツァルト〈クラヴィアソナタ〉(KV331)における演奏様式の歴史的変遷 山名敏之

第3章 管楽器による音楽表現のための技法

第1節 サクソフォンから見た「音・音楽」の様相 北山敦康

第2節 フルートから見た「音・音楽」の様相 仲戸川智隆

第4章 指揮者に求められる表現技法

第1節 指揮者の仕事 中村隆夫

第2節 指揮の基本的な表現技法を得るために 谷口雄資

第5章 音楽表現における「合わせ」の諸相

第1節 ピアノ奏者の視点から見た「合わせ」の諸相 澤田まゆみ

第2節 華曲の視点から見た「合わせ」の諸相 安藤珠希

第6章 身体と音楽表現

第1節 身体表現のための西洋音楽の感じ方・捉え方の基本事項について 石場惇史

第2節 「柔軟な構え」に基づく発声訓練法 齊藤 祐

第7章 ボーダレス社会における音楽表現

第1節 メディアの変遷と音楽 齊藤 武

第2節 電子楽器から見た現代の音楽の様相 海津幸子

第8章 現代社会における創作表現

第1節 作曲家の立場から考える古典・創作・表現者 中村滋延

第2節 ピアニストの立場から考える古典・創作・表現者 大竹紀子

第9章 震災と音楽表現

第1節 宮城で見られた音楽表現の諸相 吉川和夫・原田博之

第2節 被災地がつながる音楽表現 上田 益

第3節 震災を通して見えたもの 佐々木正利

第2部 音楽表現学の展開

第1章 「上方補助音原則」再考 三島 郁

第2章 ヘンデル〈メサイア〉における歌詞の扱いと音楽 棚山陽子

第3章 音楽文化史におけるリストのオペラ編曲 上山典子

第4章 映画『密輸船』のプリバード・ピアノ 竹内 直

第5章 子どもの音楽表現という様式 曾田裕治

第6章 音楽的音高に対する言語的符号化の実態 水戸博道

附表 東日本大震災関係資料

1. 東日本大震災後の音楽慰問活動
2. 東日本大震災後の「歌」による音楽慰問活動
3. 東日本大震災後の「器楽」による音楽慰問活動
4. 沿岸市町村の慰問演奏活動回数と文化施設被災状況

6. 入会手続きについて

メール貼付をお願いします。

本会機関誌への投稿や大会での発表の申込みは本会会員であることが条件です。手続きには2～3週間かかります。以下の書式を用いてメールで早めにお申し込みください。

- ・入会申込書はHPからもダウンロードできます。
- ・学会からの連絡（印刷物お届けなど）は、ご記入いただいた「連絡先」に届けます。
- ・お届けいただいた情報は、事務局で厳重に管理し、学会事務以外の使用目的には供しません。

[入会申込書フォーム]

入 会 申 込 書	
日本音楽表現学会に入会を申し込みます。	
年 月 日	
氏名（ふりがな）：	_____
専門分野：	_____
会員種別：該当項目に✓を記して下さい。	
□ 正会員 □ 学生会員（学部学生のみ）	
所 属：	_____
（学生は学年も記して下さい。）	
自宅住所：	〒 _____
連絡先：（上記と異なる場合）	〒 _____
連絡先 Tel. あれば携帯 Tel.：	_____
e-mail：（半角）	_____
推薦者名（学生会員・1名）	_____
学生会員に推薦者がいない場合には、事務局 にご相談ください。	
学会に期待されること。ご意見等：	

7. 退会手続きについて

メール貼付をお願いします。

退会には以下の3点が必要です。「退会願」を提出しないで、年会費を先延ばしにしていると「会則第8条」によって除名処分になります。仕事や私的な理由で残念ながら学会員を「これ以上続けることができない」と判断された場合には、必要な手続きを行ってください。

- ① 「退会届」をHPからダウンロードし、事務局に提出
- ② その年度までの年会費完納
- ③ 理事会の承認

[退会願書フォーム]

退 会 願	
年 月 日	
日本音楽表現学会 会長 様	
このたび、日本音楽表現学会を退会したいので「退会願」を提出いたします。	
なお、今年度分までの会費は納入済みですのでご確認をお願いいたします。	
氏 名：	_____
連絡先：	_____
連絡先 Tel.：	_____
e-mail：	_____
退会理由：	_____

2020 年度役員・委員等一覧

<p>会 長：小西 潤子 副 会 長：山名 敏之 藤原 嘉文 事 務 局 長：小野 亮祐 財 務 局 長：渡会 純一 理 事：杉江 淑子（事務局担当） 上山 典子（財務局担当） 澤田まゆみ（総務担当） 寺内 大輔（総務担当）</p> <p>編集委員会： 委員長 水戸 博道 副委員長 渡辺 修身 委員 大竹 紀子 豊田 典子 中 磯子 長谷川正規 三島 郁 宮本賢二郎</p>	<p>著作権ワーキング： 代表 福本 康之 委員 近藤 晶子 酒井 勇也 高橋 豊 中村 滋延</p> <p>選挙管理委員会： 委員長 樫下 達也 委員 大澤 智恵 田邊健太郎</p> <p>監事： 海津 幸子 小川 有紀</p>	<p>参与： 中村 隆夫 安田 香</p> <p>会長諮問会議：安藤 政輝 佐々木正利 後藤 丹</p> <p>参事：（事務局）近藤 晶子 中村 公俊 長山 弘 似内裕美子 松井 萌</p> <p>デザイン室長：奥 忍 （スタッフ）：海野万希子</p>
--	---	--

編 集 後 記

なかなか新型コロナウイルスの収束がみえない中、今号でも新入会員の方々のご紹介や会員の皆様の活動をお届けできることを、大変嬉しく存じます。

昨年の「ペガサス」大会開催予定地、東京から新幹線で北へ約50分の群馬県の高崎駅至近に住む私ですが、県外はおろか市外にも移動することがめっきり少なくなつて1年となります。今年の「天翔るペガサス」大会では2年目となる誌上発表に加え、昨年の大会では実現できなかった、オープニング演奏から開会式、基調講演、レクチャーコンサート、そしてサロンがまさに「天翔る」形でオンラインにて行われようとしています。今までなかなか大会に参加できなかった方も、毎年常連だった方も、今年は一人でも多くの方々がオンラインの翼で講演や演奏を共有し合い、サロンに集って昨年の分まで盛り上げ、2022年度の大会へと音楽表現の輪をひろげていけますようにと願っています。

(澤田まゆみ)